

6月補正予算及び9月補正予算の編成方針について

平成28年4月22日

6月補正予算

○復旧・復興予算

「平成28年熊本地震」への対応を最優先とし、以下の復旧・復興予算及びその関連予算を中心に編成。

- ① 被災者の救済、生活支援
- ② 社会・産業インフラの機能回復（調査設計及び工事費等）
- ③ 産業復興支援（融資枠の追加等）
- ④ その他必要な関連予算

なお、急を要する経費については、知事専決処分等で対応予定。

※肉付け予算の取扱い

知事選を踏まえて、6月に肉付け予算での対応を予定していた事業については、9月補正での対応を基本とするが、以下を検討した上で、必要不可欠なものに限っては、6月補正において編成。

- ・ 震災発生を踏まえ、事業の目的、内容、効果等を改めて精査し、6月補正で対応しなければならないか。
- ・ 震災対応への業務を考慮し、人員的に当該事業への対応が可能か。
- ・ 事業を実施するとしても事業の内容、位置付け等の見直しが必要ではないか。

9月補正予算

○復旧・復興予算

6月補正までに編成できなかった必要な予算を編成。

なお、急を要する場合は、9月補正まで待たずに、知事専決処分等での対応も検討。

○肉付け予算

6月補正で編成しなかった経費を改めて精査の上、編成。

なお、事業の内容等から、平成29年度当初予算で改めて編成することも検討。

問い合わせ先
総務部財政課
時田（内3274）